

アルプス処理汚染水を このまま放出続けていいのか？

講師：魚住 道郎さん

日本有機農業研究会理事長

有機農業生産者

日時 2025年6月21日（土）

10：30 ～ 12：00

場所 まちなか夢工房2階

参加費 500円

※シャロームホームページYouTube (<http://nposhalom.net/>) より後日配信

＜講演内容＞

森里川海はいのちの基盤、いのちの循環の場です。

その森里川海に息づく多様な動植物、微生物のいのちを食することで、私たちは生きています。今日まで大昔からいのちをつないできました。

私たちのいのちは森里川海そのものであると言え、社会的共通資本です。

人類だけのものではなく、地球上のあらゆる生き物の共有空間であり財産です。

今、汚染水をアルプス処理水として海洋放出されています。こんな無責任を放置するわけにはいかなと思います。

トリチウムの問題点も含め、皆さんと考え・語り合い共有したいと思います。

＜プロフィール＞：魚住 道郎（うおずみ みちお）さん

1950 年生まれ。日本有機農業研究会理事長、有機農業推進協会理事、

東京農業大学卒業。1973 年、たまごの会農場建設に参画、同農場従事を経て、1980 年、茨城県石岡市で専業農家として独立。平飼い養鶏 600 羽、畑 3.2ha、水田 15a。著書に『有機農業ハンドブック』『「有機農業公園」をつくろう』『食と農の原点 有機農業から未来へ』（以上、共著）、「解説 有機農業のバイブル」「農業聖典」など。各地で講師活動。第 17 回環境保全型農業推進コンクール大賞（農林水産大臣賞）（有機農業部門、2013 年 2 月）受賞。

申込書

お名前 _____

電話番号 _____

FAX _____

・6月16日（月）までにご返信いただければ幸いです。

＜問い合わせ・FAX 返信先＞

まちなか夢工房 福島市本町 5-31

TEL：024-524-2230 FAX：024-525-8285